



10月3日、田頭小学校の3年生33人が市議会議場を見学しました

9月定例会

17年度決算認定など29の議案可決

議員報酬などを改正

市議会9月定例会は、9月12日から27日まで開催しました。一般質問では、今回初めて会派代表質問を実施し、各会派を代表する5人が登壇したほか、合わせて19人が登壇。市政の在り方をただしました（12～30ページ参照）。また、今回の定例会では、決算特別委員会を設置し、平成17年度一般会計など各種会計の決算を審査したほか、市3役給与や市議会議員、非常勤特別職の報酬改正案など29議案を審議し、全議案が原案のとおり可決されました。なお、「市道中台線の拡幅改良工事を求める請願」「一般国道282号兄畑中川原付近に歩道（約190m）の延長設置を求める請願」は、いずれも継続審査となりました。



全会一致で可決したもの

▼八幡平市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

監査委員や教育委員会委員などの報酬月額を、表1のとおり改正しようとするものです。(10月1日施行)

問 農業委員報酬の見直しがあってもよかったです。

答 十分検討したが、会長の4万円は県内13市で11番目のため現状維持とした。

問 一般に農業委員の報酬は低い。どこかの自治体が先陣を切る役割を果たしてもいいのではないか。

答 全国的な傾向であり、

本市でも議論になっているというのを具申しながら進めていきたい。

問 厳しい財政状況にあつて、監査委員の役割は非常に大きい。知識者の監査委員を増やしてもいいのでは。

答 今後検討しなければならぬと理解している。

▼八幡平市市長及び助役の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

市長や助役の報酬を、表2のとおり改正しようとするものです。(10月1日施行)

問 特別職報酬審議会は、最低でも2年に1回開催すべきではないか。

答 ただ今の意見、重く受け止めている。

表1 非常勤特別職の報酬

職名	改正前	改正後	
監査委員	知識経験	31,700	85,500
	議会選出	27,500	29,700
教育委員会	委員長	34,800	53,100
	委員長職務代理者	27,300	43,200
	委員	26,900	
選挙管理委員会	委員長	22,600	28,900
	委員	18,200	21,200
農業委員会	会長	40,000	40,000
	会長職務代理者	29,400	29,400
	部会長	27,400	
	委員		27,400

*これまで設けられていた教育委員会委員長職務代理者の報酬区分が今回の改正で廃止され、一般の教育委員と同額になった

*これまで一般の農業委員会委員と同額だった農業委員会部会長の報酬が、今回の改正で会長職務代理者と同額になった

表2 県内の市3役給与および市議会議員報酬の比較

	市長	助役	教育長	議長	副議長	議員	備考
盛岡市	1,080,000	837,000	684,000	727,500	659,600	630,500	いずれも19年3月までの抑制額
宮古市	664,000	603,000	531,000	401,000	339,000	320,000	3役は当分の間の抑制額
大船渡市	816,000	675,000	536,000	392,000	339,000	320,000	
花巻市	900,000	720,000	603,000	431,000	369,000	339,000	
久慈市	801,000	664,000	578,000	386,000	331,000	303,000	
釜石市	707,000	682,000	548,000	392,000	338,000	313,000	市長は19年5月までの抑制額
遠野市	789,000	654,000	526,000	375,000	326,000	302,000	
一関市	851,000	685,000	601,000	426,000	370,000	342,000	いずれも20年3月までの抑制額
陸前高田市	623,200	606,100	506,700	361,000	313,500	285,000	いずれも19年3月までの抑制額
二戸市	726,000	624,000	556,000	380,000	318,000	301,000	
奥州市	829,000	676,000	549,000	399,000	345,000	321,000	
北上市	877,000	707,000	568,000	457,000	383,000	351,000	
八幡平市	(747,000) 776,000	(601,000) 620,000	(562,000) 572,000	(281,000) 351,000	(227,000) 284,000	(217,000) 271,000	() 内は改正前の報酬額

※全国では、合併のなかった市のうち、人口5万人未満177市議会議員の平均報酬額は33万2,700円。最低は岐阜県本巣市の22万円。また、合併した市のうち、人口5万人未満48市議会議員の平均報酬額は29万6,900円。最低は徳島県美馬市の20万6,000円で、八幡平市は下から3番目(平成17年12月31日現在。1市複数制度を適用している市を除く)



松尾地区では、熱水を利用したハウス栽培の取り組みも行われ、夏はピーマン、冬はシュンギクやミズナが栽培されています

▼教育委員会の委員の任命
 に関し同意を求めることに
 ついて

11月14日をもって教育委員会委員の任期が満了する瀬川清悦氏の後任として、伊藤政行氏(平笠)を任命しようとするものです。



伊藤 政行 氏

▼八幡平市教育委員会教育
 長の給与等に関する条例の

一部を改正する条例

教育長の給与を、表2のとおり改正しようとするものです。(10月1日施行)

▼八幡平市松尾地区集会所
 条例等の一部を改正する条
 例

松尾第1地割と細野の一部の字名を「安比高原」に変更するのに伴い、安比集会所を安比高原集会所に変更するとともに、八幡平市安代林業センターなどの住所表記を訂正しようとするものです。(10月1日施行)

▼若手県市町村総合事務組

合規約の一部変更の協議に
 関し議決を求めることにつ
 いて

▼八幡平市福祉医療資金
 付基金条例等の一部を改正
 する条例

健康保険法などの改正に伴い、所要の整備をしようとするものです。(10月1日施行)

▼八幡平市熱水供給施設給
 湯条例の一部を改正する条
 例

1㎡当たり25円の熱水供給使用料を、35円に引き上げようとするものです。(11月1日施行)

問 供給開始当初に比べると温度が下がっていると聞いたが。

答 湯花が給湯管に付着してきたため、給湯タンクに入れることよって温度が下がると聞いている。

▼八幡平市国民健康保険西
 根病院使用料及び手数料条
 例の一部を改正する条例

健康保険法の一部改正に伴い、特定療養費制度にかわり、保険給付として保険外併用療養費を支給しようとするものです。(10月1日施行)

▼平成18年度八幡平市民

健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれに1億9345万4000円を追加しようとするものです。

▼平成18年度八幡平市公共
 下水道事業特別会計補正予
 算(第2号)

歳入歳出それぞれに6416万8000円を追加しようとするものです。

▼平成18年度八幡平市農業
 集落排水事業特別会計補正
 予算(第2号)

歳入歳出それぞれに23万円を追加しようとするものです。

▼平成18年度国民健康保険
 特別会計(診療施設勘定)
 補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれに2214万6000円を追加し

ようとするものです。補正
 の主なものは、医薬材料費
 2150万円です。

▼平成18年度八幡平市民
 健康保険西根病院事業会計
 補正予算(第2号)

収益的収入支出それぞれに2367万円を追加し、資本的収入支出それぞれに159万6000円を追加しようとするものです。補正の主なものは、臨時医師賃金1107万6000円などです。

▼平成18年度八幡平市水
 道事業会計補正予算(第2
 号)

収益的収入に64万2000円、収益的支出に172万4000円を、資本的収入に207万円を、資本的支出に671万円を、それ



9月15日、松尾地区体育館で松尾地区敬老会が行われました

ぞれ追加しようとするもの
 です。

賛成多数で可決したものを

▼八幡平市議会議員の報酬
 及び費用弁償等に関する条
 例の一部を改正する条例

市議会議員の報酬を、表2のとおり改正しようとするものです。(10月1日施行)

問 議員報酬の位置付けを
 どう認識しているか。

答 議員の職務に対して支払われる、職務給的性格を有していると理解している。

問 今の状況では、上げ幅
 が高すぎるという声がある。

答 最近の動向などを考えた場合、確かに大きいですが、合併時に3町村の平均額を市議会議員報酬としたため、旧西根町議会の議員は減額となった経緯がある。また、県内12市と比較した場合、決して高くはない。

問 報酬審議会に諮問した
 額と、審議会から答申された額に差があるが、答申の額としたのは当局に主体性がないのではないか。

答 八幡平特別職報酬等審議会は公的機関であり、同審議会には、内容、必要性



出産育児一時金が35万円に引き上げられました

について提出者として誠意を持って説明したが、答申内容については厳粛に受け止め、尊重すべきということで本議案を提案した。

八幡平市国民健康保険条例の一部を改正する条例

健康保険法の一部改正に伴い、2割となっていた上位所得高齢者の患者負担を3割に引き上げるとともに、30万円となっていた出産育児一時金を35万円に引き上げようとするものです。(10月1日施行)

問 健康保険法の改正による提案であるが、税負担の増加が大きな問題となっているときに、2割から3割に引き上げることについての見解、認識を伺う。

答 将来継続して安定した医療とするための制度改正

平成18年度八幡平市一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれに8億1220万6000円を追加しようとするものです。補正の主なものは、議員報酬853万8000円、庁舎整備基金積立金1億999万9000円、財政調整基金積立金2億1000万円、身体障害者舗装具給付費757万6000円、国道282号道路改良工事に伴う市道付替工事用地購入費1613万7000円などです。

問 あしる保育所畑分園に1歳以上の子どもを受け入れることはできないか。

答 1歳以上を受け入れるためには給食施設が必要だが、畑分園では給食を本園から運ぶ計画である。2歳6カ月未満については、8km先の本園に入所していたきたい。

問 赤坂田から荒屋新町までは8kmだが、細野からは17kmある。しかも西根と違って積雪が多いので、もっと前向きに考えてほしい。

答 工事が発注になっているなどの問題もあり、今後

の課題として時間をいただきたい。
問 通所型介護予防事業委託料が大幅に減額となった理由は。
答 健康診断で、特定高齢者(要支援などになりそうな人)が約360人見つかる見込みだったが、11人とどまった。今後は受診を促すように体制を取りたい。
問 道の駅にしね用地測量調査設計業務の内容は。
答 駐車場と販売施設が混雑しているので、建物隣の園地を有効活用したい。
問 財政調整基金が減っているが、庁舎整備基金積立金は、行政改革で削減した分や財政調整基金から積み立てられるのではないか。
答 庁舎建設は、合併に伴う地方交付税の優遇措置や合併交付金などを有効活用する。合併によって、保育料や各種検診などの住民サービスがよくなっているが、これらを維持しながら行政改革に取り組んでいく。
問 経常収支比率が悪化している。行政改革では、庁舎建設を含む新市建設計画も見直しをするべきである。
答 今後、十分に精査しながら検討して、吟味されたものを順次計上しなければならぬと考えている。
問 農地流動化事業助成金交付要綱は、平成19年3月31日までとなっているが、今後の見直しは。
答 具体的には意思統一していないが、一つの区切りを付ける時期と考えている。



あしる保育所畑分園として改築されることとなった畑児童館

請願2件

いずれも継続審査

9月定例会では、次の2件の請願が提出され、両請願とも産業建設常任委員会に付託されましたが、いずれも継続審査になりました。

◎「市道中台線の拡幅改良工事を求める請願」(写真左)

◎「一般国道282号兄畑中川原付近に歩道(約190m)の延長設置を求める請願」



9月28日、産業建設常任委員会(田村孝委員長)の委員8人が、請願のあった現地を調査しました

19年度に休止予定の浅沢児童館。現在入所している9人のうち4人が年長児です



決算特別委員会

一般会計で

歳出総額は118億円

決算特別委員会（小笠原壽男委員長、松浦博幸副委員長）は、9月21日から26日まで開催されました。この特別委員会は市議会議員全員で構成され、平成17年9月1日の本市誕生からことし3月31日までの平成17年度一般会計決算のほか、特別会計8会計や企業会計2会計を審議し、いずれも原案どおり認定することに決まりました。

歳入全般

問 市税の徴収員を廃止したが、今後の対応は。

答 自主納税とし、悪質滞納者へは差し押さえも行う。

問 市税の滞納徴収率が低いが、目標設定を伺う。

答 収納向上対策本部目標は15%で、達成率は半分程度。抜本的見直しが必要だ。

問 地価調査結果が発表されたが、安代地区商業地は評価額が高く、地元民は困っている。十分気を付けて評価しなければならないが。

答 評価替えは3年に1回、県の調査価格、市独自の評価などを総合的に評価して行う。安代地区商業地は、市内他地区と比較し、次回評価替えてフォローしなければならぬと思っている。

問 国の三位一体改革の影響額は。

答 三位一体改革は、平成16年から3カ年で行われ、3年間の合計で19億2000万円の歳入減になった。

問 不能欠損処理がゼロになっているのはなぜか。

答 実際は不能欠損処理をしているが、合併の関係で

5月末までに作業ができなかった。

総務費

問 安代地区公衆トイレ管理業務委託料は総務費で、大更と平館のトイレは商工観光費だが、違いは。

答 大更と平館は商業振興の視点で整備した。

問 市が保有する有価証券は明かな基準が必要では。

答 各企業の経営状況を見ながら、引き揚げなども検討したい。

問 市行政改革大綱の策定プランでは、合併協定内容は変えないと言っているが、改革の精神に反するのでは。

答 柔軟な姿勢で議論をしていく。合併協定を十分尊重し、行財政の展望を見定めながら進めていきたい。

民生費

問 現在10室ある生活支援ハウスの申し込み状況は。また、19年度以降の増床計画はどうなっているのか。

答 3月末の時点で9室利用している。増床に関しては、新たに小規模・多機能

高齢者の独り暮らしや夫婦が入居する生活支援ハウス



問 施設を建設予定で、それらの利用状況を見て検討する。
答 浅沢児童館は19年度に休止予定だが、その後は。
問 あしる保育所への入所希望の方もおり、今後の児童の状況を見て検討する。
答 あしる保育所畑分園には、2歳半未満児は入れないということだが、地域に合った対応を望む。
問 既に工事に着手している状況で、19年度からの対応はできない。今後の児童の推移を見て検討する。
問 家庭児童相談コーナー、

平成17年度 各会計の決算状況 (金額は、1万円未満を四捨五入)

会計名		収入額	支出額
一般会計		123億6,443万円	118億3,379万円
特別会計	国民健康保険 (事業勘定)	25億3,493万円	23億4,803万円
	老人保健	23億8,062万円	22億6,155万円
	公共下水道事業	11億8,056万円	11億3,443万円
	農業集落排水事業	10億2,955万円	9億4,860万円
	浄化槽事業	6,139万円	5,814万円
	国民健康保険 (診療施設勘定)	2億1,699万円	1億9,485万円
	索道事業	1,800万円	1,625万円
	公共用地先行取得事業	412万円	412万円
企業会計	西根病院事業	収益的収支 4億2,541万円 資本的収支 6,045万円	4億1,881万円 5,403万円
	水道事業	収益的収支 3億5,746万円 資本的収支 2億8,164万円	3億1,743万円 3億8,427万円

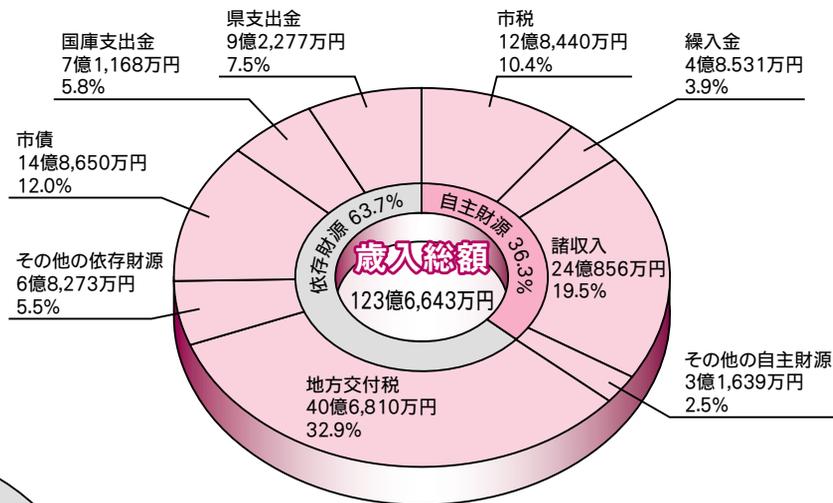
* 水道事業の資本的収支で、収入額が支出額に対して不足する分は、引継補てん財源、当該年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額で補てん

問 合併後の補助金減額が各種団体に影響を与えていないか。
答 旧3町村の交付方式の違いもあり、普通交付税などの歳入と見合わせながら見直していく必要がある。
問 決算内容から見て、少子化対策への見解は。
答 子育て支援センターの増設や、保育所機能の拡充などを検討していく。

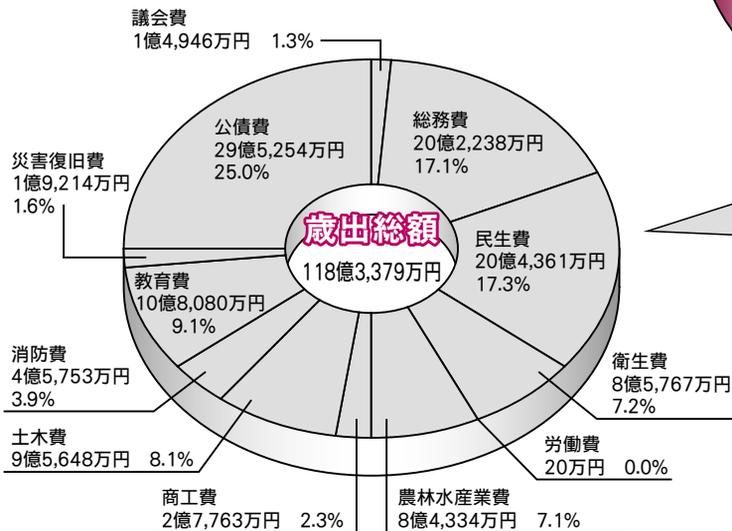
◎ 歳入のポイント

市町村の財政力に応じて国から交付される地方交付税が40億6,810万円で最も多く、これに次いで、諸収入(盛岡北部行政事務組合負担金返還金など)の24億856万円、市債(市が事業を行うために国から借りたお金)の14億8,650万円の順となっています。

平成17年度一般会計歳入内訳



平成17年度一般会計歳出内訳



◎ 歳出のポイント

最も多かったのは、市が事業を行うために借りた市債の返済金である公債費で、29億5,254万円。これは、歳出全体の25.0%を占め、次に、市民の福祉向上に使われる民生費の20億4,361万円、総務費の20億2,238万円、教育費の10億8,080万円の順となっています。



市議会産業建設常任委員会とヤマブドウ生産者の皆さんが懇談会を開催。ヤマブドウ畑では、生産の状況を視察しました（9月28日）

衛生費

問 各種検診の無料化などの市民サービスは、今後も続けることができるのか。

答 今の制度は継続しながら、その経過を検証する。

農林水産業費

問 ヤマブドウに成人病への薬効成分があるとの新聞報道があったが、これについて市で取り組む考えは。

答 盛岡地方振興局で対策班を立ち上げ、内容を進めている。

問 バイオマスエネルギーの促進対策は。

答 第3セクターのボイラーなどに活用できないか、コスト面、保守面で検討している。

問 森林整備地域活動支援交付金は18年度で終わるが、19年度以降の見通しは。

答 森林組合などで陳情運動しているが、今のところ継続情報は示されていない。

商工費

問 御在所沼の遊歩道工事と周回コースの整備は。

答 まだ木道整備や案内看板の改善などがあり、今後3年を目安に整備する。国有林内の周回コースは、関係機関と協議し検討する。

問 リンドウ根に薬効成分があるといわれているが、商品化の見通しは。

答 研究中である。商品開発の前提となる無農薬栽培が技術的な課題である。

問 第3セクターの公共性と人件費問題について何う。

答 事業内容を把握した計画を立て、公益性をとらえた事業を行う。事業形態や地域性を的確に押さえ切れなかった実態については、今後解決しなければならぬ。人件費については、業務の中で従業員を融通し合い、経費節減に努めていく。

土木費

問 除雪サービスを低下させない対応が必要だが。

答 県から除雪機械を増強予定だ。早期に除雪会議を

開き、除雪方法や、迅速な除雪体制などを検討したい。

問 市営住宅の維持管理は。

答 築36年の古い住宅を含め392戸の市営住宅がある。新市建設計画にないが、需要と民間の住宅供給を見極めながら検討したい。

問 都市計画道路の変更について、大更駅前のコミュニティ道路を含め、駅東側のアクセスの考えを何う。

答 県の都市計画審議会から再度検討ということで作業中である。コミュニティ道路は、現在の都市計画道路上に計画しているという問題の解決が必要だ。大更東側道路については19年度に計画調査に入りたい。

問 市道鴨志田線は国道282号のう回路として重要だ。今後の整備計画は。

答 将来的には、う回路として確保したい。

消防費

問 消防団員の充足率は。

答 旧安代100%、旧西根と旧松尾はともに80%で、全体で85・8%である。今後は公務員の加入を促進し、

団員不足を解消したい。

教育費

問 市総合運動公園野球場の観客動員数と、球場案内板設置について何う。

答 昨年度の利用者数は1万3973人である。案内板は19年度で設置したい。

問 平館テニスコートを増設するべきではないか。

答 敷地が狭く難しい。学校に整備し、学校開放する方策を検討したい。

問 少子化が進む中、学校の在り方や、地域が望む小学校の存在意義を何う。

答 児童の教育面から、望ましい学級や学校の規模に向かうのが順当と思われる。学校は地域の心よりどころであり、地域の皆さんの理解を得て進めたい。

問 山村留学制度についてどう考えるか。

答 家族ぐるみで引越してくるような留学なら賛成だ。小・中学生の段階では、親と一緒に生活するのが本来の姿だと思っている。

問 安代グラウンドの照明を安代小学校に移設しては。

答 費用や現状を調査の上、しかるべき措置をしたい。

問 安代小学校プール整備工事の途中、落札した共同企業体2社のうち、盛岡の会社が民事再生法を申請し、残る地元業者が完成させた。地元業者で工事に十分対応できたが、地元業者優先の入札制度に対する考えは。

答 基準を設け、その一環のものは地元発注している。

問 一般も利用できる安代小学校プールの利用期間は。

答 本年度の利用は9月10日までとした。学校プールであり、夏休み以外は土・日曜日に開放している。

問 市立図書館の読書指導員の仕事内容は。

答 資料の調査など、図書館全体の仕事をしている。

問 大更公民館新築計画について、会議室増床の要望に対する結論は出たか。

答 国の補助事業で整備する計画であり、大変厳しい状況だと伝えられている。

問 パブリックコメント制



反対
賛成

討論

9月定例会最終日の9月27日には、決算認定の採決に先立ち討論を行いました。討論には反対の立場で1人、賛成の立場で2人が登壇し、それぞれ支持を訴えました。



反対

高橋悦郎 議員

住民本位の施政を望む

反対する基本的理由は、庁舎整備基金積立金へ2億円を支出したことに賛同できないからである。庁舎建設は合併協議の段階から賛否が議論され、いまだ市民の合意が得られていない。厳しい財政状況の中、これ以上借金を増やすべきではない。国の三位一体改革で19億円余りが3年間に削減され、各種積み立て基金や地方税も減少し、自由に使える一般財源は10年前の30%になった。聖域のない行政改革を進め、それを住民の要望に応える財源に充てるべきであり、反対討論とする。



賛成

北口和男 議員

いずれも妥当と考える

毎年厳しい財政環境の中にあつて、昨年9月1日に3町村が合併し、「みのりひかり農と輝の大地」を掲げ、東北の交流拠点都市を目指して新生八幡平市が誕生した。この決算は7カ月分であり、旧町村計画の事業、安代小学校屋根付きプール整備事業、ヤマブドウ消費者宣伝事業や協働社会構築モデル事業など、市当局が一丸となって行財政運営の効率化、健全化に細心の注意を払ったのがこの決算である。今後においても、市民主体のまちづくり、市全体の均衡ある発展を強く望み、賛成討論とする。



賛成

小野寺昭一 議員

着実な新市建設に敬意

わが八幡平市は、それぞれ独自の施策で、住民生活、文化の向上、産業の振興に取り組んできた3町村が、小異を捨て大同につき、新たなまちづくりに歩み始めた。年度を2分割しての行政運営は、かなりの困難であったと推察するが、提案された決算は、各分野への配慮など、一つの自治体、通年の予算執行を思わせるものであり、新市への移行が順調になされたものと読み取ることができた。厳しい諸情勢の中、「農と輝の大地」建設に向け、さらなる努力を期待し、賛成討論とする。

度について、現在の状況は。
答 他市の状況を見て、やる場合はさちつと進めたい。
問 中学校スキー強化費補助金は今後どうなるか。
答 市内中学校を対象に、中学校体育連盟で検討する。
問 地区公民館と自治公民館の運営費負担で差がある。地域づくりの課題であり、どう考えているか。
答 協働のまちづくりでどう反映するべきか、行政改

革推進本部会議で検討する。
特別会計全般
問 国民健康保険税滞納者への短期被保険者証などの発行は厳密に行っているか。
答 交付基準を定め、資格審査委員会に諮っている。医療が打ち切られないように配慮していきたい。
問 安代地区の公共下水道負担金、使用料は農業集落

排水事業と同額との説明だったが、変わっていないか。
答 合併協議会での協定により、料金体系統一に向けて調整することとしている。
問 公共下水道の接続率は。答 西根地区は57%で、さらに接続率を上げたい。
問 安代診療所への繰入金が増えたのはなぜか。
答 患者数が減少した。
問 安代診療所の存続は。答 地域医療を守るために、

維持しなければならないと考えている。
問 西根病院の繰入金増額の原因は。答 職員4人の退職に伴うものである。
問 西根病院の移転新築計画は、病院経営の改善を図ることを意図しているのか。
答 新市建設計画にも移転新築が計画されているが、病院の規模や必要性を検討委員会でも検討する。

平館公民館隣に整備された平館テニスコート。全天候コートを2面備えています

